

第5学年 算数科学習指導案

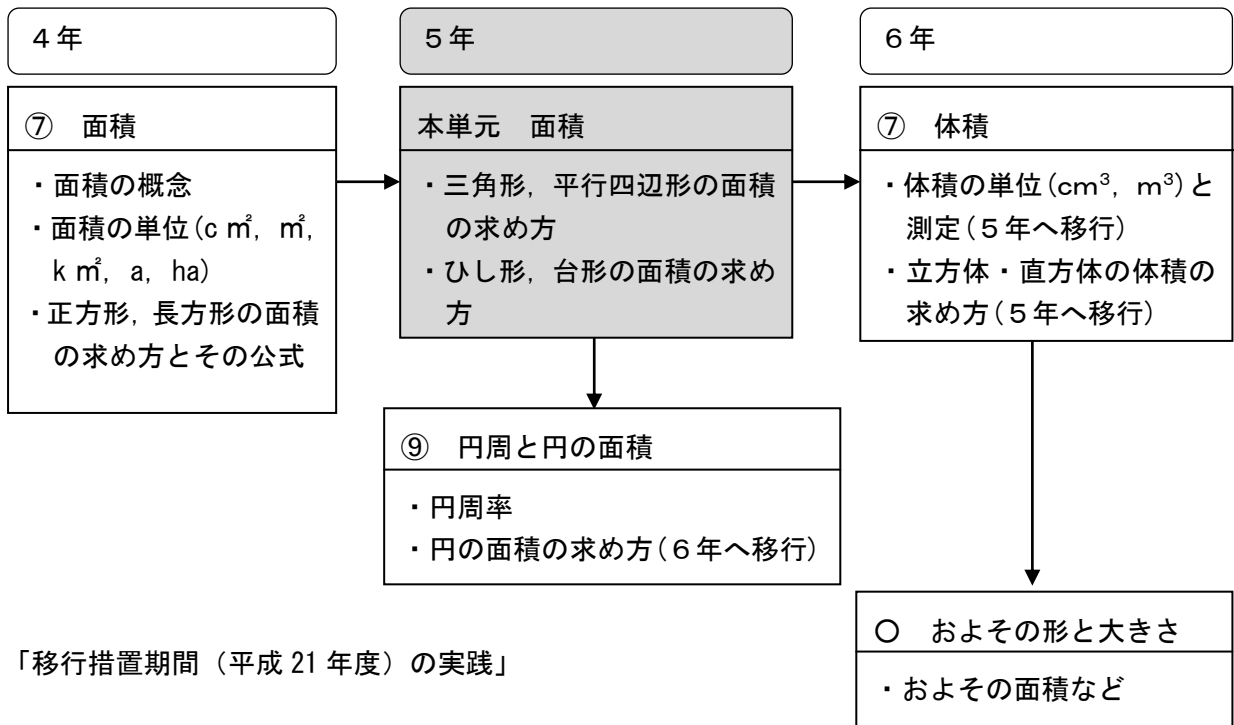
1 単元名 面積の求め方を考えよう

2 単元とその指導について

(1) 教材観

面積に関する学習としては、第4学年では、1辺が1cmの正方形がいくつあるかということ
で広さを理解し、 cm^2 ・ m^2 などの単位を用いて正方形や長方形の面積を求め、公式を導いている。そ
して、色板並べ活動や複合図形の面積を求める学習を通して、単位の保存性をとらえる経験をして
きている。さらに、第5学年の1学期に平行四辺形、台形、ひし形などの基本的な図形について学
習し、作図できるようになっている。

本単元では、これらの学習の発展として、三角形・平行四辺形などの基本的な図形の面積の求め
方を考え、面積の概念の理解を深めることを主なねらいとしている。三角形や平行四辺形などの面
積は既習の図形に帰着して面積を求めることができる。ここでの学習は、単に面積を求める公式を
覚え、それを適用することだけがねらいではない。図形を切ったり、移したり、必要な部分の長さ
を測ったりする作業的な活動を多く取り入れ、長方形などの既習の面積の求め方に帰着させ、面積
を求める公式を導き出す過程を大切に、公式を自ら導き出すことで豊かな図形感覚の育成につな
げたい。



「移行措置期間（平成21年度）の実践」

「単元の関連と発展」

※ 本単元の実践は移行措置期間の平成21年度に行ったものであるため、上記の「単元の関連と発展」の図については、移行措置期間における学習内容の配列に準じて作成している。

(2) 児童観

実践校の対象児童は、学習に対する意欲が高く、特に、算数に関しては大変意欲的に課題解決に取り組む児童が多くいる。また、自力解決の場面においては、既習の学習内容を生かして自力解決に取り組む姿勢が定着してきている。自分の考えをより分かりやすく相手に伝えることを意識しながら、単に式だけで表すのではなく、課題解決の手順を図や言葉を使って表わそうとしている児童が多く見られる。しかし、自分の考えを積極的に全体場で表そうとする児童は少ない。少人数でのペア学習やグループ学習では、お互いの考えの相違点や共通点を見付けながら伝え合うことが定着してきている。

(3) 指導観

直線で囲まれた基本的な図形の面積について、長方形や正方形の面積の求め方を基にしながら、具体物を用いて必要な部分の長さを測定し、計算によって求められることを実感できる学習を行う。そして、見通しの段階で、前時までに学習した内容を掲示物等で振り返ったり、課題解決の上で何が使えるかを確認したりしながら、既習の図形の学習に帰着させることを大事にしていきたい。

全体での話し合いの前に、ペア学習やグループ学習を取り入れ、近くの友達と意見交換を行う場を設け、小集団で意見を交わすことにより、自分の考えを振り返り、情報の共有化を図ることができると考える。また、自分の考えを振り返ることや友達との共通点、相違点に気付かせることで、全体での話し合いに対する意欲を高めさせたい。

全体での話し合いでは、いくつかの児童の考えを提示し、「妥当性」→「関連性」→「有効性」を検討して、よりよい解決方法を選んだり、作ったりする過程を重視していきたい。また、話し合いの中で、それぞれの式や数値に着目して、「なぜそうなるのだろうか」といった根拠を明らかにしながら学習を進めさせていきたい。

これらの小集団学習や全体での話し合い活動を取り入れることで、自分の考えをまとめながら表現したり、相手を意識して分かりやすく説明したりする活動へと高めさせ、数量や図形にかかわる意味や概念等を理解させるとともに、数学的な思考力・判断力・表現力をはぐくむ学習としていきたい。

(4) 算数的活動について

本単元においては、「面積の求め方を考え、説明する活動」を通して、数学的な思考力や表現力を高めることをねらいとしている。そのためにも、三角形や平行四辺形などの面積の求め方を考えさせる際に、具体物を用いたり、図や式、言葉を用いたりして考える作業的な活動を多く経験させる。そして、自分の考えを説明する活動だけでなく、学び合いを通して分かったことや気付いたことを相互に説明し合う活動を取り入れる。相手意識をもって伝える経験を多く積ませることで、思考の深まりと算数的な表現力の高まりが見られるのではないかと考える。

また、自分たちが互いに協力して作り上げた面積の求め方を繰り返し活用させることで、その方法の意味理解を深め、いつでも使えるように高めさせたい。

3 単元の目標

- (1) 既習の面積公式を基にして、三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積を求める公式を進んで見いだそうとする。
【算数への関心・意欲・態度】

(2) 既習の面積公式を基にして，三角形，平行四辺形，ひし形及び台形的面積を工夫して求めたり，
公式をつくったりすることができる。 【数学的な考え方】

(3) 三角形，平行四辺形，ひし形及び台形的面積を求める公式を用いて，面積を求めることができる。
【数量や図形についての表現・処理】

(4) 三角形，平行四辺形，ひし形及び台形的面積の求め方を理解する。
【数量や図形についての知識・理解】

4 単元計画（全 12 時間）

小単元	時数	学習のめあてと主な学習活動	算数的活動	評価規準
1 三角形の面積	1 / 12	直角三角形の面積の求め方を考えよう ・長方形や正方形の面積の求め方から，直角三角形の面積の求め方を考える。	・作業的な活動 ・説明する活動	㊦ 既習の面積公式を基にして，三角形の面積の求め方を進んで見いだそうとする。 ㊦ 直角三角形の面積の求め方を考え，言葉や図，式を使って書き表すことができる。 ㊦ 直角三角形の面積を計算で求めることができる。
	2 / 12	三角形の面積をいろいろな方法で求めよう ・長方形や直角三角形の面積の求め方から，三角形の面積の求め方を考える。	・作業的な活動 ・表現する活動 ・説明する活動	㊦ 三角形の面積の求め方を，言葉や図，式を使って書き表すことができる。
	3 / 12	三角形の面積を簡単に求める方法を考えよう ・三角形の面積を求める公式について考え，公式をまとめる。	・探究的な活動 ・説明する活動	㊦ 既習内容を基にして，三角形の面積の公式を進んで考えようとする。 ㊦ 三角形の面積の求め方の公式を理解し，求めることができる。
	4 / 12	四角形の面積をくふうして求めよう ・三角形の面積の求め方を基に，四角形の面積を求める。	・応用的に考える活動 ・説明する活動	㊦ 四角形の面積を2つの三角形に分割して考え，言葉や図，式を使って書き表すことができる。 ㊦ 四角形を三角形に分割する考え方をを用いて面積を求めることができる。
2 平行四辺形の面積	5 / 12	平行四辺形の面積をくふうして求めよう ・三角形の面積の求め方や等積変形を使って，平行四辺形の面積の求め方を考える。	・作業的な活動 ・表現する活動 ・説明する活動	㊦ 既習の面積公式を基にして，平行四辺形の面積の求め方を進んで見いだそうとする。 ㊦ 三角形や長方形の面積の求め方を基にして，平行四辺形の面積の求め方を考えることができる。

積				<ul style="list-style-type: none"> ▣ 平行四辺形の面積の公式を理解する。
3 いろいろな三角形・四角形の面積	6 / 12	図形の中に高さが見えない三角形や平行四辺形の面積を求めよう <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の付録を使って高さが外にある三角形を三角形や平行四辺形に変形させ、面積を求める公式が適用できることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業的な活動 ・表現する活動 	<ul style="list-style-type: none"> ▣ 既習の三角形や平行四辺形に変形して、高さが外側にある三角形や平行四辺形の面積を求めることができる。 ▣ 高さが外側にある三角形や平行四辺形の面積について公式を適用して求めることができる。
	7 / 12	台形の面積をくふうして求めよう <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を基にして、台形の面積の求め方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返る活動 ・説明する活動 	<ul style="list-style-type: none"> ▣ 既習の面積公式を基にして、台形の面積の求め方を進んで見いだそうとする。 ▣ 既習の求積方法を活用し、分割したり結合したりして、台形の面積の求め方を考えることができる。 ▣ 台形の面積の公式を理解できる。
	8 / 12	ひし形の面積をくふうして求めよう <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を基にして、ひし形の面積の求め方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現する活動 ・説明する活動 	<ul style="list-style-type: none"> ▣ 既習の求積方法を活用し、分割したり結合したりして、ひし形の面積の求め方を考え、求めることができる。 ▣ ひし形の面積の公式を理解できる。
	9 / 12	「練習」問題に取り組もう <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を振り返り、練習問題に取り組む。 		<ul style="list-style-type: none"> ▣ 基本的な図形の面積の求積方法を理解し、求めることができる。
4 面積の問題	10 / 12	高さや底辺によって三角形の面積がどのように変化するか調べよう <ul style="list-style-type: none"> ・底辺一定で高さが増えたり、高さ一定で底辺が増えたりする場合の面積の変化の様子を調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業的な活動 ・探究的な活動 ・表現する活動 	<ul style="list-style-type: none"> ▣ 三角形の高さや底辺と面積の関係を考えることができる。
	11 / 12	面積の求め方を説明しよう <ul style="list-style-type: none"> ・式の形から、いろいろな面積の求め方を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現する活動 ・説明する活動 	<ul style="list-style-type: none"> ▣ くさび形の面積を求め、その求め方を表すことができる。 ▣ 面積を求める式の形に着目し、式の表す意味を図形と関連付けながら読み取ることができる。
たしかめ道場	12 / 12	「たしかめ道場」の問題をすべてやりとげよう <ul style="list-style-type: none"> ・「たしかめ道場」の問題を解く。 ・学習内容を振り返って、自己評価をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ▣ 面積についての理解を深めることができる。

参考資料・・・算数的活動のとらえ方 小学校学習指導要領解説算数編（平成 20 年 8 月）より

手や身体などを使ってものを作るなどの**作業的な活動**

教室の内外において各自が実際に行ったり確かめたりする**体験的な活動**

身の回りにある**具体物を用いた活動**

実態や数量などを**調査する活動**

数量や図形の意味，性質や問題解決の方法などを見付けたりつくりだしたりする**探究的な活動**

学習したことをさらに**発展させて考える活動**

学習したことを様々な場面に**応用する活動**

算数や他教科等の学習を通して身に付けたものを**総合的に用いる活動**

これらに加えて，

プロジェクト研究で提案する活動

既習内容（事項）を**振り返る活動**

自分の考えを**表現する活動**

自分の考えたことを**説明する活動**

5 各時間の指導の実際 ※2 / 12時と11 / 12時についてまとめたものです。

(1) (2 / 12時) 三角形の面積をいろいろな方法で求めよう

① 本時の目標

- ・ 三角形の面積の求め方を、いろいろな方法で考えることができる。【数学的な考え方】

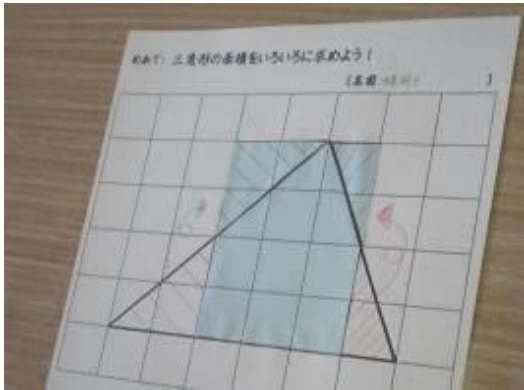
② 主な算数的活動について

- ・ 作業的な活動として、三角形を切ったり、動かしたりする具体物を用いた活動に取り組みせ、いろいろな操作を加えても面積が変わらないことからその求め方を考えさせる。
- ・ 表現する活動として、自分たちが考えた方法を振り返りながら、図や式、言葉を用いて分かりやすくまとめさせる。
- ・ 説明する活動として、ペア学習や全体での話し合いの活動を取り入れる。自分なりに考えた方法を相手に分かりやすく伝えさせる。

③ 本時の展開

過程	学 習 活 動 (◎ 算数的活動)	○指導上の留意点 ◇評価規準と評価方法 ◎算数的活動の指導にかかわる留意点
つかむ	1 本時の課題をとらえる。 (教科書5ページの問題を用いる) ・ この三角形の面積を求めよう。 ◎既習事項を想起する。	○ 方眼黒板に前時のワークシートを提示し、直角三角形を長方形に変形させて面積を考えた前時の学習を想起させる。 ◎ 方眼黒板に本時の課題を提示し、前時の三角形とどちらの面積が大きいと予想させる中で、前時の学習内容と求積方法を想起させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 三角形の面積をいろいろな方法で求めよう。 </div>		
見通す	2 解決の見通しをもつ。 《予想される児童の考え》 ・ 切る (直角三角形に分ける) ・ 長方形にする ・ 合体方式 (倍積変形) ・ 移動方式 (等積変形)	○ 前時の学習内容を活用して考えることを意識させる。 ○ 拡大した方眼紙に問題の三角形を印刷したもの (ワークシート②) と、色紙に印刷した同じ大きさの三角形 (三角形カード②) を児童全員に1枚ずつ配布する。
自力解決	3 自力解決をする。 ◎ 面積を求める方法を考える。 《予想される児童の考え》 ア 2つの直角三角形に分ける イ 長方形の面積の半分と考える ウ 長方形に置き換える 表現方法 ・ 図 ・ 言葉 ・ 式	◎ 配付した図形を切ったり、動かしたりするなどの作業的な活動を通して、面積を求める方法を考えさせる。

◎ 自分が考えた方法を表現する。



「長方形に置き換える考え」

4 自分の考えをペアで説明し合う。

◎ ペア学習の相手に説明する。

- ・自分と同じ考えか違う考えか
- ・どのような式になっているか
- ・どのような図を使っているか



「ペア学習で求め方を説明する児童」

◎ 自分が考えた面積の求め方を言葉や図、式に表現させる。また、児童の表現方法について机間指導を行う。

《表現方法を指導するポイント》

- (ア) あまり細かく切り刻まない
- (イ) 矢印を入れる
- (ウ) 言葉での説明を入れる
- (エ) 式を入れる
- (オ) ○○方式等の名前を付ける

○ 上記の(ア)～(オ)までを、児童のワークシートを基に前時の『学習活動6 次時からの学習の見通しをもつ。』のところで、よい表現方法として紹介しておく。

○ 活動が早く終わった児童には、他の考えに基づく面積の求め方を考えさせる。

○ ワークシート②と三角形カード②を多数用意しておき、自由に取れるようにしておく。

◇ 三角形の面積の求め方を、言葉や図、式を使って書き表すことができる。

【数学的な考え方】[ワークシート]

◎ 自分で考えた三角形の面積の求め方を、図や式を使って、ペア同士で説明させる。

《説明のさせ方・手順の提示》

- ①説明します。
- ②わたしは、○○を使って考えました。
○○の方法で考えました。
- ③まず……。次に……。最後に……。
- ④式は○○、答えは○○になりました。
- ⑤この考えのいいところは○○です。
- ⑥これで説明を終わります。質問や感想はありませんか。

学
び
合
い

5 自分の考えを説明し合う。

◎ 全体の場で説明する。



「長方形で求めた方法を説明する児童」

6 まとめをする。

◎ いろいろな方法から、共通点を見付ける。

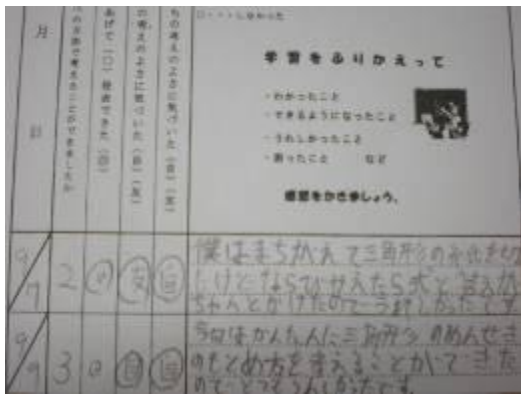


「児童の求め方を比べ、整理する話し合い活動」

どのような求め方でも、三角形の面積は長方形の面積の半分になる。

7 本時の学習を振り返り、次時からの見通しをもつ。

◎ 見通しをもつ。



「児童の振り返りカード」

◎ 自力解決した方法を記入したワークシートをそのまま提示し、全体の前で説明させる。

○ 説明には上記の手順を意識させる。

○ ワークシートの表現で後ろから見えにくい矢印などについては、教師がペンで加筆する。式も見やすいように板書する。

○ 前時の学習との違いをつかませる。

◎ お互いの考えの共通点や相違点などを話し合わせる中で、それぞれの考えを認めながら、まとめさせる。

○ 三角形の周りにそれを囲む長方形をイメージさせ、それぞれの式の中にある「 $\div 2$ 」に注目させる。

○ 本時の学習でがんばったことや分かったことなどについて、振り返りカードに振り返らせる。

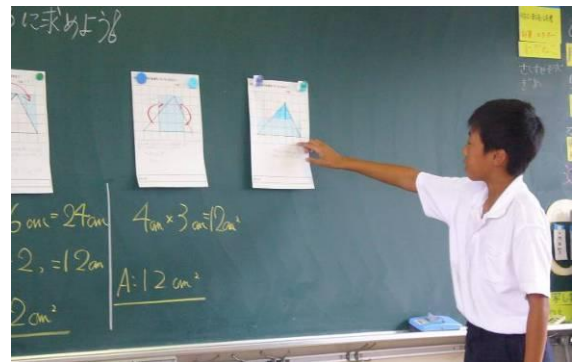
◎ 正方形や長方形の面積の求め方を「公式」にまとめたことを想起させ、三角形にも「公式」があるのではないかという見通しをもたせる。



「2 / 12時の板書」

④ 実践後の授業者の振り返りと指導のポイント

- 本時の導入では、前時の学習と同様に作業的な活動を取り入れて、面積を調べさせ、児童一人一人にその概念を形成させる学習にすることが大切である。そのために、4年生で学習した面積についての意味理解を確認しつつ、具体的に折り紙などを操作する作業的な活動を通して、直角三角形や三角形にもその考えを当てはまることを学習させた。作業的な活動を繰り返しながら図形の面積についての理解を深めるとともに、それを測定するために計算式が使えることを経験させた。



「全体で求め方を説明する児童」

- 本時の学習では前時と同じような学習を続けながらも、既習事項を活用するとより効率的に考えられることや説明できることを経験させた。(三角形は、2つの直角三角形に分割ができるので前時の学習を活用して三角形の面積が求められることをとらえさせた。)
- 「三角形の面積は長方形の面積の半分である」ということを経験させることが大事であるが、1つの図だけでは分かりにくいので、いろいろな図形の変形を経験させながら三角形の周りにそれを囲む長方形(正方形)をイメージさせた。また、この活動の繰り返すことで、面積を考える時に必要になる部分の辺の長さに目を向けさせることが大事である。
- 本時の学び合いの過程において、ペア学習で説明する活動を取り入れ、児童一人一人が自分の考えた求め方を自分なりの表現で相手に伝えることを経験させることができた。自力解決が難しい児童には、友達の求め方をまねさせることでその方法を自分のものにさせることが大切である。(友達の考えをまねることも学習になるということを伝えていきたい。)

(2) (11 / 12時) 面積の求め方を説明しよう

① 本時の目標

- ・ 三角形の面積を求める公式の形に着目して、公式の表す意味を具体物に即していろいろに読み取ることができる。【数学的な考え方】

② 主な算数的活動について

- ・ 表現する活動として、自力解決の場面で、公式などを用いて表した式の意味を具体的に図や言葉と関連付けて相手に分かりやすく伝えることを意識させてまとめさせる。
- ・ 説明する活動として、ペア学習や全体での話し合いの活動を取り入れ、自分の考えを相手に分かりやすく伝えるようにさせる。まず式を示し、それに対する説明を図と関連付けながら行う手順を進めていく。全体での話し合いでは、示した式についてそれぞれ考えを話し合い、求め方を考えさせる。

③ 本時の展開

過程	学 習 活 動 (◎ 算数的活動)	○指導上の留意点 ◇評価規準と評価方法 ◎算数的活動の指導にかかわる留意点
つかむ	<p>1 本時の課題をとらえる。 (教科書 15 ページの三角形を用いる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 三角形ABCの面積を求めよう。 <p>◎ 式から求め方を考える。</p> <p>① 「8×6」は長方形の面積 $\div 2$はその半分</p> <p>② ($6 \div 2$)は高さの半分 ゆえに、横長の長方形に等積変形して考えた式</p> <p>③ ($8 \div 2$)は底辺の半分 ゆえに、縦長の長方形に等積変形して考えた式</p>	<p>○ 式と答えを出させる。</p> <p>○ 公式を用いた式「$8 \times 6 \div 2$」を取り上げ、式の意味を考える。三角形の面積を求めた時の掲示物を利用し、長方形の面積の半分であることを確認する。</p> <p>◎ 公式を用いなくても求められる式を取り上げ、その意味を考えさせる。図と照らし合わせながら確かめさせる。</p> <div data-bbox="858 1160 1326 1496" style="text-align: center;"> </div> <p>「教室内に掲示された既習内容」</p>
見通す	<p>(教科書 15 ページのくさび形を用いる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ くさび形の図形の面積を求めよう。 <p>2 解決の見通しをもつ。</p> <p>◎ 求め方の見通しをもつ。</p> <p>ア 大きな三角形から部分を引く。</p> <p>イ 2つの三角形に分けて、足す。</p>	<p>○ 面積の求め方を説明するため、図と式を比べながら考えさせる。</p> <p>◎ 面積の求め方の見通しをもたせるため、既習の面積の求め方(三角形や平行四辺形で切り取ったり動かしたりして求めた方法)を掲示物などから想起させた上で、どういう調べ方をすれば面積を求められるかを考えさせる。</p>

面積の求め方を説明しよう。

- 3 自力解決をする。
 ◎ くさび形の面積を求める。

◎ 自分が考えた方法を表現する。

《予想される児童の考え》

ア 大きい三角形から小さい三角形を引く

$$(6+4) \times (5+2) \div 2 = 35$$

$$(6+4) \times 2 \div 2 = 10$$

$$35 - 10 = 25$$

イ 2つの三角形をたす

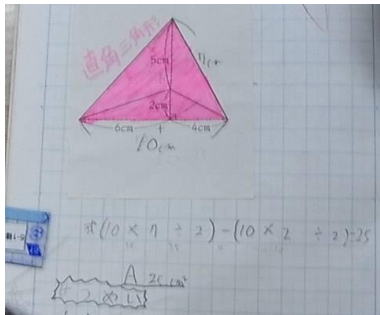
$$\text{左} \cdots 5 \times 6 \div 2 = 15$$

$$\text{右} \cdots 5 \times 4 \div 2 = 10$$

$$15 + 10 = 25$$

ウ 左と右の三角形をそれぞれ直角三角形に等積変形して考える

すると、底辺が(6+4)で高さが5の図形と同じ面積になるので、
 $(6+4) \times 5 \div 2 = 25$



「アの考え方をした児童のノート」

- 4 自分の考えをペアで説明し合う。

◎ ペア学習の相手に説明する。

- ・自分と同じ考えや違う考え
- ・どのような式になっているか
- ・どのような図を使っているか

- 単に、くさび形の図形の面積を求めるのではなく、式と図を関連付けて考え、その求め方を相手に説明できるようにすることの重要性を再確認する。

◎ くさび形の図形のワークシートを配布し、線を引いたり、切り取ったり、動かしたりするなどの作業的な活動をさせ、面積を求める方法を考えさせる。

◎ 相手に分かりやすく伝えることを意識させるために、単に式や答えをだけで表すのではなく、求める手順を図や式、言葉に関連付けた説明を考えさせる。

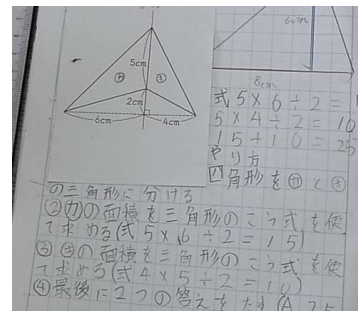
◎ 求め方を伝える際に、図や言葉と関連付けて、相手に分かりやすく表現させる。

- ワークシートを多数用意しておき、自由にとれるようにしておく。

◇ くさび形の面積を求め、その式の意味を表すことができる。

【表現・処理】〔行動観察、ノート〕

- ウが説明できる児童には、言葉の式を考えてみるように促す。



「イの考えをした児童のノート」

◎ 近くの友達とお互いの考えを伝え合うことで、自分の考えを振り返ったり、情報の共有化を図ったりさせる。

◎ 式と図を対応させながら説明させる。



「自分の求め方を説明し合う児童」

5 自分の考えを説明し合う。

- ◎ 全体場で説明する。
- ・どのような方法で求めたのか
- ・どこからそのことが言えるのか
- ・何を求める式なのか
- ・求め方で似ている点は何か



「友達の式から考えようとする児童」

- ◎ 共通点や相違点を話し合う。

6 本時の学習を振り返る。

ま
と
め
る

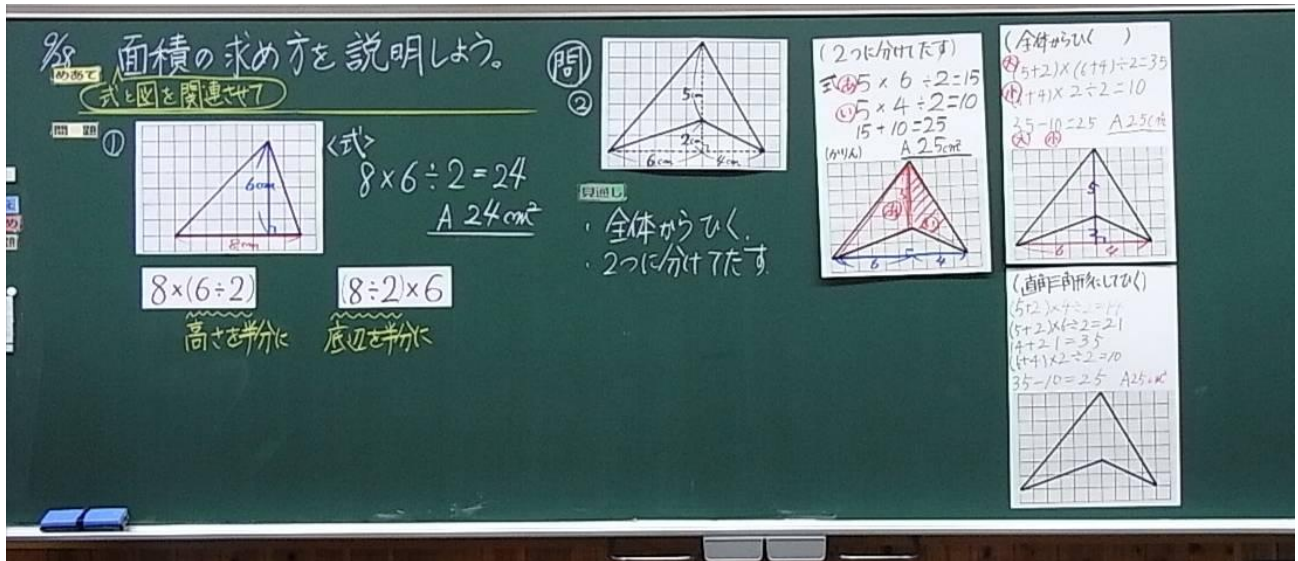
- ◎ 考え方や解き方などの説明を付け加えながら全体での話し合いを進める。
- 全体での話し合いでは、まず式を提示し、その式の意味（数値の意味、求め方など）を図形と関連付けながら考えさせる。
- 初めにアの考えを取り上げ、本人に説明させたり、他の児童に考えさせたりさせる。次にイの考えを取り上げる。この考えについては、みんなで確かめさせる方法なども大事である。
- イの考えについては、底辺と高さがどの部分になるかも確かめさせる。

- ◎ お互いの考えの共通点や相違点などを話し合わせる中でそれぞれの考え方を認めながら、そのよさに気付かせる。

◇ 面積を求める式の形に注目し、式の表す意味を図形と関連付けながら読み取ることができる。

【数学的な考え方】〔行動観察、ノート〕

- 面積の求め方によって、式や図などが異なることを気付かせる。
- 今日の学習で、頑張ったことや分かったことなどについて振り返らせる。



「11 / 12時の板書」

④ 実践後の授業者の振り返りと指導のポイント

- 本時の導入場面では、これまでの学習で取り上げた内容をすぐに振り返られるように環境を整えておくことが大事であると考え、毎時間の学習した成果をそのまま掲示した。自分たちが考え、作り上げたものであることで児童一人一人の理解がより深まり、その学習内容にかかわることを想起させやすかった。
- 本時の学習では、まず三角形の面積を求める式と、既習の学習内容を結び付けさせ、式と図の間につながりがあることをつかませた。そして、別の図形の面積を求める時に、式と図で求め方を説明することを意識させた。(この図形の面積を求める方法については、三角形の面積を求めるということでは5年生の内容になるが、考え方としては4年生の学習の活用と見ることができる。) 児童一人一人に自力解決させた上で、ペア学習を取り入れたことにより、式にまとめられている求め方を考えることができた。
- 本時の学習で主として取り上げた考えはアとイの2通りであるが、児童のとらえ方としては、アの考えが理解しやすい。イの考えについては、図形を分割して底辺と高さの部分が入れ替わることもあり、一人一人の児童が理解するのは難しい。そこで、みんなで必要な部分の長さを確認し合いながら考えることが必要だった。
- これまでの学習で、問題から求め方を考え、式に表現して答えを求める過程を繰り返していたが、本時の学習では、式からその求め方を考え、それを表す図を表現することを経験させた。このような学習を取り入れることが、図、式、言葉を相互に結び付けて考えたり、読み取ったりする力を育成することにつながる。本単元の内容は「量と測定」領域の学習であるが、取扱い方によって「数量関係」としての式の読み方の力をはぐくむことになる。このように、指導者が意識して数量や図形についての知識及び技能を多様な方法で見たり、取り上げたりすることが大事である。